

長崎市立橘中学校 学校だより(HP)

「海風」

第1号 令和5年4月19日(水) 文責 校長 井上博之

○ ごあいさつと自己紹介

今年度4月1日に長崎市立橘中学校長として赴任しました、井上博之と申します。どうぞよろしくお願いいたします。前任校は、佐々町立佐々中学校に2年間、その前は長崎市立桜馬場中学校に教頭として4年間勤務しておりました。

平成元年度より長崎市で教職をスタートし、教職生活は今年で35年目となります。

趣味はバイクでのツーリング、アウトドアでのキャンプ、山登りと温泉です。特にバイクでソロキャンプに行き、焼肉とビール、温泉の3セットを堪能するのが私にとっての至福の時間です(コロナ禍と業務多忙でほぼ3年間、実現できませんでした)。が..)



○ 学校だよりの発行について

今年度の学校だよりの通称を「海風」としました。3月末に校舎を案内していただいたとき、校舎から見た橘湾がとても美しく輝いていました。「海風」とは、日中、陸が海よりも早く暖められて上昇気流が生まれ、その結果、海から陸に向けて吹く風のことです。朝や夜は逆に陸から海に「陸風」が吹きます。

「私たち教職員は、地域という“大地”にとっては、“風”みたいなもの。どこから来て、そして去っていく。でも、その土地に何かしら良い影響を与えて、子どもたちという“種”を素晴らしい花や樹にしていくお手伝いができる。」と、ある校長先生が書かれていました。そこで、私たちも「生徒一人一人の自立と成長、幸福の実現のため」に吹く風でありたいと思います。また、時には学校から地域に向かって、生徒や学校の取り組み、私たちの願いや希望などを(陸風のように)お伝えしていきたい。そのような願いや思いを込めて、「海風」にしました。

これから一年間、学校で行う教育活動のねらいや生徒の活動の様子などをお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 橘中学校の印象

着任する以前までの、私の橘中学校についての印象は、「昭和の終わり頃に創立した学校」「学校規模が大きい」「校庭が広い」「制服がブレザー」「学校行事や部活動が活発」・・・などでした。新学期がスタートして約1週間が過ぎましたが、生徒の様子を見て感じたことは校内で「あいさつをする生徒が多い」ということです。



生徒会や生活部と一緒に朝の「あいさつ運動」に数回参加しましたが、「あいさつ」は、コミュニケーションの基本、人との心のキャッチボールです。普段から、家庭でも、地域でも、学校でも、友達や先生、誰とでも、目と目を合わせて、笑顔で、明るくあいさつができる人になってもらいたいと願っています。

みなさんが抱いている「橘中の特徴」とは、どんな点でしょうか？機会があれば、生徒の皆さんにも聞いてみたいと思います。

○ **今年度の職員** 全校生徒 447 人、教職員とスタッフ 41 人でスタートします。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

※職員、スタッフのお名前等は学校だより(紙媒体)でお伝えしています。HP 掲載版では個人情報保護の観点から、削除させていただきました。